

ちばけん公民館 スタッフニュース



わがまちじまん!! 酒々井町「しすいハーブガーデン」

酒々井町は、千葉県の北部、北総台地の中央に位置し、緑豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれています。北部に印旛沼、南部には高崎川周辺に田園地帯が広がり清らかな湧水や地下水が豊富なことから、町名は、親思いの孝行息子が見つけた井戸から汲んだ水が酒になったという「酒の井伝説」に由来しています。しすいハーブガーデンは、「ハーブのまち酒々井」を広く皆さんに知ってもらおうと、世界各地のハーブを150種類以上収集して植栽した本格的なハーブガーデンです。春から秋にかけてガーデン内ではそれぞれの季節の愛らしい花々が咲き、爽やかに香る風に揺れています。ガーデン内のショップでは苗や加工品の販売、ハーブティのサービスもあります。

また、町には平成10年に重要文化財として国の史跡に指定された本佐倉城跡が、現在でも土塁や空堀などほぼ完全な姿で残されており、この城跡の規模は35万㎡におよびます。本佐倉城は、今から500年前に脚光を浴びた、下総守護の居城です。現地では、公民館主催講座から結成されたボランティアガイドによる案内で楽しむことができます。

4月には酒々井インターチェンジが開通し、酒々井プレミアム・アウトレットがオープンしたことから、多くの皆さんに「しすい」を知っていただくことができ、アクセスもしやすくなっています。

是非酒々井へお越しいただき、人・自然・歴史が調和した活力あるまち 酒々井をお楽しみください。

千葉県公民館連絡協議会

教えて!

公民館のしごと役に役立つヒント

講師選定について

普段、仕事で悩みを抱えていませんか？今回は講師の選定についてです。県内いくつかの公民館に質問をして回答をいただきましたので、みなさんにご紹介したいと思います。

1 講師を探す時に気を付けている事は？

- ①事業の実施目的と対象者に適しているかに最大限の注意を払いながら、講師の選定をしています。
- ②なぜこの地域の公民館で、なぜこの事業で、なぜその講師なのかという事を意識しながら探すと講師選定に合致していきます。
- ③公民館事業に理解を示していただけの方かも重要なポイントです。
- ④初めて依頼する講師については出版している著書などを読むようにしています。その上で趣旨を伝えるために狙いや意図などを盛り込んだ「企画書」を作成し、書面と口頭による説明を真摯に伝える努力をしています。
- ⑤講師の著書を学級生も準備会で読みあうなどもしています。
- ⑥予算を考慮し、市の職員や学校の先生を活用しています。

2 テーマに応じてどのように情報を集めて講師選びをしていますか？

- ①（準備会等を行っている場合は）講座参加者からの情報。
- ②公民館の関係者への聞き取り調査。
- ③マスコミやWEBサイトなどで情報収集し、その業界の関係者に問い合わせる情報収集しています。

3 館内で相談する場を設けていますか？またどのような話し合いをしていますか？

- ①担当者が案を出せない場合は、他の職員も情報収集を行い、案を出しています。
- ②担当者だけが頭を悩ませないように、公民館だよりなどで他館の事業を参考し、職員同士で共有しています。

以上回答していただいたものを載せましたが、みなさんの役に立ったでしょうか？今後も皆さんの役に立つ記事を載せていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



公民館スタッフのつぶやきコーナー

館
長

『地域の特色を生かし、人づくり、街づくりをめざします!』



習志野市谷津公民館 館長 畔蒜 義之 さん

平成 25 年 4 月から公民館長として勤務しています。谷津公民館は昨年、開館 30 周年を迎えました。30 周年事業として、「バラの街♪音楽会」と題した音楽祭を開催、新しい事業となり、今年も 9 月に実施する予定です。

谷津の地域にはラムサール条約登録湿地の「谷津干潟」があります。今年で登録 20 周年を迎え、さまざまなイベント記念行事が開催されています。ラムサール条約は、特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地およびそこに生息・生育する動植物の保全を促進することを目的としています。谷津干潟は、都市部の真ん中にある世界でも珍しい湿地（干潟）で、渡り鳥にとってはかかせない場所になっています。また、公民館の近くには「谷津バラ園」や巨人軍発祥の地のモニュメントもあり、自然環境に恵まれた観光地域となっています。貴重な自然財産であ

る谷津干潟を次世代に残していくとともに、谷津公民館に足を運んでいただくようにさまざまな講座、イベントを企画し、地域の活動の拠点となるよう運営しております。

さて、公民館の業務には学級や講座があります。その学びの主体は住民で、それを支えるのが公民館です。何のために学級や講座があるのか、それは住民一人ひとりが学ぶため、地域での仲間作り、地域の課題を発見、解決するためにあると思います。

そして、講座は誰が作るかというと、本来住民と作るもので、住民のとらえかたは、お客さんではなく、地域を作っていく主体であり、地域を作っていく担い手であります。学ぶのは住民なので、要求や課題を大切にしていきたいと考えています。多くの市民の皆さんに愛される、利用しやすい公民館にしていきたいと思っております。



「公民館での仕事を通して」

職
員

我孫子市教育委員会生涯学習課 岡本 輝美 さん

本年 4 月から我孫子地区公民館へ配属となり、数カ月が経過しようとしています。配属された当初は公民館事業について全く無知に等しい状態で、仕事内容もイメージしづらい印象がありました。

市内には 2 つの公民館が置かれていますが、そのうち我孫子地区公民館は、平成 14 年に市民図書館との複合施設『生涯学習センター』として誕生しました。今年で 12 年目を迎える我孫子市生涯学習センターは『アビスタ』の愛称で親しまれ、これまで 882 万もの人々に利用されています。市内にとどまらず近隣市からの利用者も多く、新たな仲間と出会う場所、興味を学びへ結びつける場所として学習機会の提供に大きな役割を果たしています。

我孫子市は東京のベッドタウンとして開発されてきた市ですが、その反面、地域のなかに古き文人の足跡や文化財が今もなお息づき、自然豊かな風景がすぐそばに残っています。公民館事業として史跡巡りや手賀沼での船上学習を実施する他にも、イベン

トが多く執り行われています。

そのなかで私は、主に 2～3 歳児の保護者向けの学級の運営に携わっています。

学級では自分の役割が行動に結びつかないぶん戸惑いも大きく、開級当初は参加者との接し方がわからず声すらかけられない日々でした。

親としての育児の悩みや個々が学級のなかで思うことなど、学級生の心中を推し測るのはとても難しいですが、今ではまず相手の気持ちに寄り添うための第一歩として、すすんで声をかける姿勢を大切に日々の学級に臨んでいます。

仕事を任された当初は何事も理解が不十分でしたが、日々利用者との関わりを通して学ぶことが多い今の環境はとても恵まれていると思います。公民館事業にとどまらず、ゆくゆくはより広く目を向けられるよう新たな発見をコツコツと積み重ねていきたいです。

まちより むらより、

「七夕飾り」～公民館で季節を楽しもう！～

千葉市おゆみ野公民館 ☎043-293-1520



ひと昔前でしたら、クリスマスにはクリスマスソングが、お正月には「春の海」が街中で流れ、季節感を感じることができました。最近はそのようなものが少なくなったような気がします。

当館では、公民館を訪れた方が季節感や年中行事を体感できるようにと、吹き抜けのホールに年4回飾り

付けを行っています。6・7月は「七夕飾り」、12月は「クリスマスツリー飾り」、1月だけは「武者絵風の鑑賞」、3月は「ひな飾り」を行っています。来館された方が飾り付けに参加し、それを鑑賞することで、年中行事を体感するというものです。

今年も、6月18日～7月7日まで「七夕」飾り

を行いました。大塚運営懇談会副会長から、この3年間ご厚意で5メートルほどの笹竹を寄贈していただいています。公民館を訪れた方は玄関へ入るなり、吹き抜けのホールに飾られたこの大きな笹竹に驚かれて「きれいね。」「いいですね。」と声をかけていただきました。この事業も定着してきたのでしょうか、訪れた子ども達はすぐに、公民館の方で用意した短冊に願い事を書いて飾って楽しんでいました。日に日に短冊などの飾りは増えていき、最終日には笹竹に一杯になりました。飾りの数だけ多くの方々が参加され、「七夕」の行事を楽しまれたのではと思われます。

これからも、地域の学習拠点として、地域住民の方が気軽に来館できるよう、また来館された一人ひとりが楽しく参加できるような事業を開催していきたいと思ひます。

「工作教室」おいでよ子ども土よう塾

大多喜町中央公民館 ☎0470-82-3188



子どもたちを対象に、家庭や学校では体験できない自然や文化を通じた活動を実施し、休日の子どもの体験学習を支援する場を提供することを目的に、30名程度募集し年4回(土曜日)開催しています。

主な内容は、土器にふれあう体験やお菓子作りなどですが、ここでは工作教室について紹介させていただきます。

この教室では使用済のペットボトルを活用し、安価な材料費で部品を購入してソーラーペットボトルカーを作製しました。環境に配慮した太陽光を動力

源として、モーターや動力線などの各部品を組み立てていきます。講師の説明を聞き、また地域のボランティアスタッフのアドバイスやサポートを受けながら真剣なまなざしで、モノづくりに励んでいました。完成したのを見た時の笑顔で、成し遂げた達成感が伝わってきました。

出来上がったサンプルは、公民館内に展示してあります。

この工作教室も含め他のテーマでも、実際に見て触ってモノを作り上げる喜びや興味を持って、積極的に取り組めるようになり、また、町内の小学生同士の交流の場としてもよい機会でありました。少子化という時代背景、また外で遊ぶ機会が減少している昨今、このような子どもたちが交流できる場は今後も必要だと痛感しました。

これからもこの「おいでよ子ども土よう塾」に限らず、講座や教室開催には公民館利用者や参加者の意見を取り入れ、より魅力ある学習活動の場を提供できるよう努力したいと思います。

持ちより公民館だより

市民カレッジ「聖地巡礼昔と今」

香取市佐原中央公民館 ☎0478-55-1151



香取市佐原中央公民館では、平成 25 年度に 8 教室 3 講座を開催しています。

その中でも、最も多くの市民が参加している市民カレッジがあります。

市民カレッジは、昭和 59 年度から昭和 62 年度まで開講された県民カレッジの終了後、市民の要望により、県民カレッジから市民カレッジとして昭和 63 年度から、現在まで我孫子市にあります、中央学院大学との共催事業で開催して、5 月から翌年の 2 月までの間、月 1 回の年 10 回行います。

当初は、国際理解を深めることを目的に開講されましたが、現在は充実した生活を送れるよう、さまざまな専門知識を身につけることを目標に開講しています。

平成 24 年度は 65 名、平成 25 年度は 70 名の方が参加し、受講生の多くは、60 代以上です。

大学の先生の講義と聞くと、難しそうな話と思われがちですが、先生方もわかりやすく話をしてくださり、笑いが出る場面もあります。

受講生は毎年のように来館してくださる先生方の講義を受けるのを楽しみにしています。

平成 24 年度に行われた「聖地巡礼昔と今」では、巡礼の歴史や世界の巡礼の話、そして今は、アニメのモデルになった神社や寺院に若者たちを呼び込み、町おこしにつなげようと、若者文化に合わせたサービス等を行っている地域の例を取り上げた話に、受講生は、今どきの若者文化に驚きと感心、そして笑いありの講義でした。

～楽しく親子で健康づくり～「幼児親子3B体操教室」

長柄町公民館 ☎0475-35-3242



3B 体操って何？初めて聞いた方はそう思うでしょう。3B とはボール・ベル・ベルターという 3 つの手具のことをいいます。

この手具を使って、音楽に合わせて体を動かしたり、ダンスをしたり、楽しみながら心身をリフレッシュさせる健康体操です。

赤ちゃんからお年寄りまでの幅広い年齢層の方々が対象ですが、長柄町では今年から小学校就学前幼

児と親を対象とした親子教室を始めております。

毎月第 4 火曜日の午後 2 時 30 分から 1 時間程度行っており 20 組 40 名の参加者がいます。

講師の先生に名前を呼ばれると子ども達は元気に返事をして、流れてくる音楽につられて軽快に動き回ったり跳ねたり・・・！

手具を使って親子でバスごっこをしたり、お母さんを対象に寝転がりながらのびのびダイエット体操をしたり、これには普段ストレッチができないお母さん達からも「気持ちがいい。骨盤がしまる。」などの好評をいただいています。

この場に来ることによってついつい子育てで家に閉じこもりがちなお母さん同士のふれあいや、子ども同士のふれあいとれているように感じます。

今後もっと参加者同士が交流し、楽しく子育てをしていける環境が作れたらと思います。

シリーズ・県内の
元気館

～生涯学習の中核として～

東金市中央公民館

☎0475-50-1191

東金市は面積約90km²人口約6万人。県都千葉市に接し、都心へ約60km、千葉市の中心まで約26km.に位置しています。また、成田国際空港のある成田市にも近く、千葉と外房・銚子方面への結節点として重要な位置にあります。



郷土歴史学習会

東金市内には、8館の公民館が置かれています。各公民館では、第3次総合計画第3期基本計画「こころ豊かなまちづくり－生涯学習・教育・文化・国際交流」を政策の柱として、「いつでも学び親しめる生涯学習・生涯スポーツの振興」の大施策に基づき、主催事業を行い、公民館サークル等の学習の場を提供し、サークル活動を応援しています。

年間の公民館利用者は約12万人で、幅広い年齢層に利用されています。

東金市中央公民館は、昭和53年に建設され、東金駅から徒歩5分のところにあり、市役所に隣接しており、1階が児童館、2階、3階が中央公民館となっています。



ステージ付きの講堂、大小の和室、研修室、会議室、調理室を備え、市内の公民館の中で一番規模が大きい公民館となっています。

毎年16講座の主催事業を実施しており、子ども将棋教室、園芸教室、色鉛筆画教室、パン作り教室、味噌作り体験教室や野外講座として、県内の歴史を学習する「郷土歴史学習会」、自然に触れる「野草散歩」があります。

その他、夏休み講座として親子で参加できる水彩画教室、親子書道教室、親子料理教室、万華鏡作り教室、陶芸教室、七宝焼教室を実施しており、毎年多くの市民の方々に参加をいただいております。

毎年2回、6月と3月に、公民館情報誌「どきどき」を発行し、各学校や区長回覧等で主催事業の情報の発信をしております。

現在、市内の公民館では約200のサークルが活動しております。

今後も、生涯学習の中核施設として、より多くの市民が参加できるような公民館運営をしていきたいと思っております。



味噌作り教室

ちばけん公民館
スタッフニュース編 集：千葉県公民館連絡協議会 広報委員会
委員長：石橋正一（銚子市市民センター）発 行：千葉県公民館連絡協議会
印 刷：株式会社 豊文堂